

ハギダメギク (掃き溜め菊)

名前の意味：最初に掃き溜め (ゴミを集めておく場所) で見つかったから。

分類：双子葉類、キク科、コゴメギク属

(キク科の栽培植物：ヒマワリ、フキ、レタス、ゴボウ)

好きな場所：日当たりのよい道ばた、畑の縁

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：北米

特徴：対生する鋸歯のある (へりがぎざぎざしている) 葉、白い5枚の花弁の目立つ小さな黄色い花。

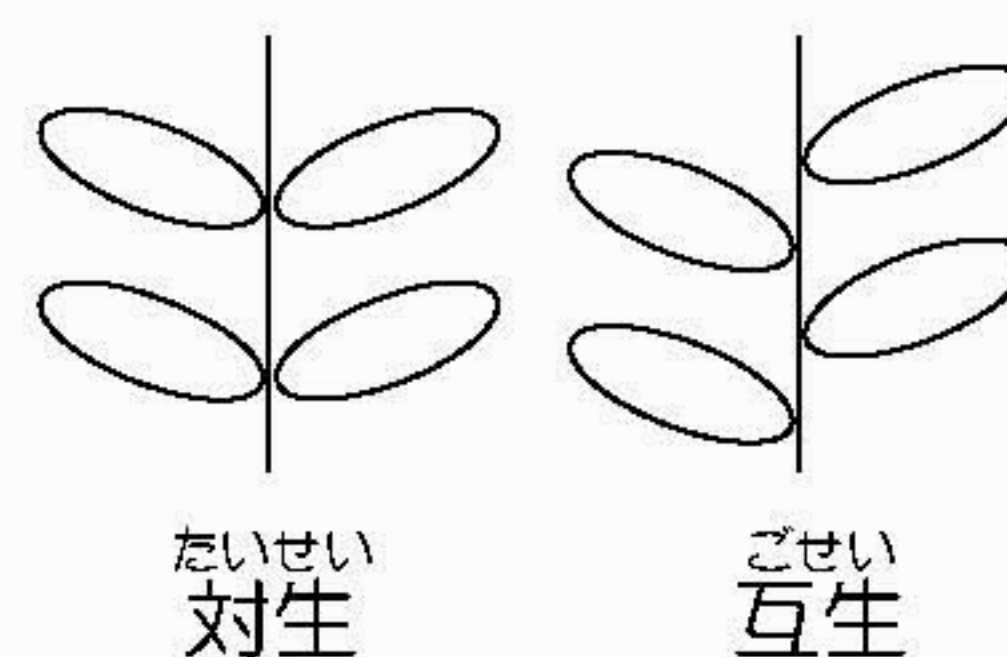
種子の運ばれかた：風に飛ばされる

花弁の数：5枚、合弁 (花びらがつながったまま落ちる)、小さくてよくわからない

花の時期：7—10月

食べ方：食べられるけれどもおいしくない

見分け方：エノキグサは葉が互生するがハギダメギクは対生する。



見つけやすさ ★★

見分けやすさ ★★

総合難易度 ★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)